



講義集会

第12回ゲスト

デザインエンジニア takram 渡邊康太郎

テーマ

「ストーリー・ウィーヴィング -
ものがたりを紡ぐデザイン手法」



講義集会とは空間演出デザイン学科ファッションデザインコースの
津村幹治が各分野で活躍するクリエイターや経営者を選び
講義を受けるだけでなく集いの場に話し合いをもつなかで
新たなインスピレーションを得ようという企画です。



ファッションデザイナー、「FINALHOME」ディレクター
、武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授。究極の
家は家であるという考えを具現化した都市型サブ
イノヴェイション「FINALHOME」を考案する。パリコレ
クション、ロンドンコレクション、東京コレクションなど
のファッションシーンを通過しながら、デザインやア
ート、建築の分野を越境した活動を展開。第52回読者
賞、第12回毎日ファッション大賞新人賞、第3回読者
賞を受賞。
<http://www.finalhome.com/>

【プロフィール】



takram のデザインエンジニア。慶應義塾大学SFC
卒業。著書に「ストーリー・ウィーヴィング」(ダイヤ
モンド社)。http://bit.ly/petgdC

在学中のベンチャー起業、経産省による欧州研修
参加を経て、2007年よりtakram参加。最新デジタル
機器のUI設計から、国内外の美術館やギャラリ
ーで展示するインタラクティブ・インスタレーション
制作まで幅広く手がける。主な代表作に、東芝・ミ
ラノサローネ展示「OVERTURE」、NTTドコモ「コン
シェル」「ウィジェット」「チャンネル」のユーザインタ
フェースデザイン、オカムラ・伊東豊雄氏との協働
展示「風鈴」、国際現代芸術展ドクメンタ出展作品
「Shenu」などがある。多くのプロジェクトを経て体
系化した「ものづくりとものがたりの再立」という独
自の理論をテーマに、企業のインハウスデザイナー
・エンジニア・プランナーらを対象とするレクチャ
ーシリーズやワークショップを実施。

09年、スウェーデン芸術助成委員会のレジデントと
して制作活動を行う。10年、代表作のひとつ「ふる
まい」をマンハッタン国立デザイン博物館にて展
示。独red dot award 2009など受賞多数。国内外
での講演や研修実施も多数。

<http://www.takram.com/>

日時：2012年9月10日(月)

時間：16:30～

場所：第1講義室(1号館103)

主催：空間演出デザイン学科研究室

MAU